

- I 主題名 自分らしさを知る 【内容項目】 A 個性の伸長
 教材名 「『自分らしさ』を見つめよう」 『道徳5年』（光村図書）
 「気になる自画像」 『構成的グループエンカウンター辞典』（図書文化）

II 考察

1 価値観

個性の伸長とは、自分のよさを生かすことであり、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。そのためには、自分の特徴を知り、短所を改めて長所を伸ばしていくことが大切である。ここでの特徴とは、他者と比較して特に自分の目立つ点であり、長所だけでなく短所も見つめなければならない。自分自身ではわからない特徴もあるため、他者からの気づきを通して自分の長所や短所を知るようこころがけることが重要になる。つまり自己理解を深めることである。

自分自身の気づき、および他者からの気づきを通して知った自分の長所や短所を、多面的・多角的に捉え、自分らしい生活や生き方を求めて、短所を改め長所を伸ばしていこうとする態度を育てることが重要である。

2 児童観

中学年では「自分の特徴に気づき、長所を伸ばすこと」について学習し、長所を伸ばすことの大切さについて考えを深めている。この時期の児童は、自分の得意なことや好きなことがはっきりしてきて、それと同時に友達との違いや友達との特徴にも気づいていくようになる。反面、学級の小グループ化が進んで、固定し始めたり、照れや恥ずかしさなどで自己開示や友達への支持が素直に表現できなかつたりする児童もいる。

そこで、自分自身や他者の目を通して、多面的・多角的に自分自身の特徴を知り、長所だけでなく短所もしっかり受け止められるようにしたい。また、将来どんな自分になっていきたいかを考えながら、自分らしい生き方を目指して、改めるところは改め、自己を高めようとする態度を育てたい。

3 教材観

「気になる自画像」と「自分らしさのまど」を作成して交流する時間と、資料「手塚治虫が見つけた『自分の道』」から考える時間に分けて、2時間扱いで取り扱う展開にした。

「気になる自画像」を作成する活動では、他の人からの支持により自己肯定感を高め、自分のよさに気づくこと、「自分らしさのまど」では、①友達から見える自分、②自分から見える自分という2つの窓から、どんな自分が見つかるかについて投げかけている。「友達のいいところ」を書く活動と、自分の「好きなことや得意なこと」などを書く活動を通して、自分への気づきを深めていく。

「気になる自画像」と「自分らしさのまど」を作成する活動の背景となる理論技法は「ジョハリの窓」理論であり、自己開示や他の人の支持で自己理解を深めることである。活動を通し、自分の特徴に気づくとともに、（2時間目）資料「手塚治虫が見つけた『自分の道』」を読むことで、自分の長所を伸ばすことの大切さを感じることできる教材である。

Ⅲ 本時の学習（1／2）

1 ねらい

「気になる自画像」や「『自分らしさ』のまど」を完成する活動により、自分のよさに気づきながら、様々な自分を知り、自己理解を深めながら、短所や長所を見つめ直して自分らしさを伸ばしていこうとする心情を育てる。

2 展開

主な学習活動（発問と予想される児童の反応）	指導上の留意点及び支援	時間
<p>1 自分の「よいところ」は、どんなところだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るいところ ・足が速いところ <p>めあて いろいろな自分を知り、「自分らしさ」を見つめよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「それだけかな？」「友達からはどう見えているかな？」と投げかけることで、他にも見つけてみたいという気持ちを高めたい。 	5分
<p>2 P91の教材文を読み、グループになって「『自分らしさ』のまど」を完成させる。</p> <p>①他の人から見た自分について知り、自分のよさに気づくためのエクササイズをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分とメンバーにあてはまる人の特長や印象を表す「冷静な」「誠実な」「ユーモアのある」などの言葉を表の中から選ぶ。 ・まず、自分についてあてはまる言葉や「私の好きなことや得意なこと」「私を変えたいと思っていること」を「自分らしさ」のまどに記入する。 ・次に8人組のメンバーでそれぞれにあてはまると思う特長を表す言葉を選んで「気になる自画像」のワークシートに記入しあう。 <p>②4人組になって、「『自分らしさ』のまど」を完成させましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気になる自画像」で選んだ言葉「冷静な」などをあてはめて「あなたは冷静な人です。なぜなら（具体的な理由）」を友達のカードに書く。 ・友達に書いてもらったカードを張る。 <p>③できあがった「『自分らしさ』のまど」を読み合い、思ったことや気づいたことをシェアしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「気になる自画像」のワークシートを活用する。 ・自分のことを書くときには長所と短所の両面から例を示し、考えるヒントとする。 ・「もし、とまどったり気持ちがスッキリしなかったりした人がいたら、気軽に先生に声をかけて、すぐいくよ。」 ・言葉をなかなか選択できない子には、悩まず直感でひらめいた言葉を書くようにアドバイスする。 ・「『自分らしさ』のまど」のワークシートを活用する。 ・友達の選んだ言葉を信じられないと感じている子には、その言葉も自分の一面を示していることを伝える。 ・完成したカードを見てどう感じるか尋ね、その気持ちや新しい気づきが大切であることを伝える。 	20分 15分
<p>ふだん思ってもいなかったことを伝えられた人は、それをどう感じたか話しましょう。気づいたことも話しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ではそう思っていなかったのに、3人がその言葉を選んでくれて、とてもうれしい。 	<p>【評価項目】完成した「『自分らしさ』のまど」を見て、自分の長所や短所を見つめ直している。（発言、ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・席を立って自由に動きながら、カードを見せ合い、感想や助言を返すようにさせる。 	5分